

田中正司先生著作目録

一 著書

- (1) 『現代の自由―その思想的考察―』 評論社  
一九六四年六月
  - (2) 『増補ジョン・ロック研究』 未来社  
一九六八年五月
  - (3) 『市民社会理論の原型―ジョン・ロック論考―』  
御茶の水書房  
一九七九年七月
  - (4) 『現代の自由―思想的考察―』 御茶の水書房  
一九八三年九月
  - (5) 『アダム・スミスの自然法学』 御茶の水書房  
一九八八年四月
- 二 共著・編著・翻訳書
- (1) J・S・ミル「ペンタム論」 スピーゲル編『古典学派―経済思想発展史2』 東洋経済新報社所収  
一九五四年
  - (2) 『アダム・スミスと現代』(高島善哉・水田洋ほか共著)  
同文館  
一九七七年六月

三 論文

- (3) ロック『利子・貨幣論』(竹本洋共訳) 東京大学出版会  
一九七八年二月
  - (4) 『ジョン・ロック研究』(平野耿共編) 御茶の水書房  
一九八〇年一〇月
  - (5) 『スコットランド啓蒙思想研究―スミス経済学の視界―』(編著) 北樹出版  
一九八八年六月
- 三 論文
- (1) アメリカにおける限界生産力説論争  
『経済と貿易』(横浜市立大学経済研究所) 第四六/四七号  
一九五〇年二月
  - (2) 科学の反対革命―ハイエクによるサン・シモニアン思想の系譜的研究―同上 第五三号  
一九五一年一〇月
  - (3) 戦後横浜の文化的貧困性 同上 第五八/五九号  
一九五三年五月
  - (4) Joseph A. Schumpeter 『原典近代経済学』(伊坂市助・越村信三郎・山田長夫・佐藤豊三郎共編) 同文館所収

- (5) ジョン・ロックの自然法思想について 『横浜市立大学紀要』  
シリーズB—一二・通巻六七号 一九五七年三月
- (6) ホップズ自然法思想の近代性解釈をめぐって—とくにウォリ  
ンダー氏の所論を中心として— 『横浜市立大学論叢』社会科学  
学系列 第一〇巻三／四号 一九五九年五月
- (7) 財産の自由と市民革命思想—マクファースンならびにコック  
スの所論を中心とした序説— 『横浜市立大学論叢』社会科学  
系列 第一六巻第二号 一九六五年三月
- (8) ジョン・ロックの財産論 『横浜市立大学紀要』シリーズB  
—一六・通巻一五五号 一九六六年三月
- (9) 社会思想史における歴史と哲学 『未来』第二五号 一九六八年一〇月
- (10) ロックにおける伝統と近代—抵抗権説と市民社会の形成原理  
— 『横浜市立大学論叢』社会科学系列 第二二巻第二号 一九七〇年三月
- (11) ジョン・ロック研究文献目録 『横浜市立大学論叢』社会科  
学系列 第二二巻第三／四号 一九七一年三月
- (12) ジョン・ロック研究の動向 『季刊 社会思想』第一巻第二  
号 一九七一年八月
- (13) ロックにおける「歴史的」方法の問題 『思想』第五七八号  
一九七二年八月
- (14) 近代自然法と市民社会の歴史理論 『横浜市立大学論叢』社  
会科学系列 第二四巻第一号 一九七二年一二月
- (15) ロックにおける市民社会の問題 同上 第二四巻第二号  
一九七三年一月
- (16) ロックの評判法とスミスの道徳感情論 『思想』第五八九号  
一九七三年七月
- (17) 同感論におけるヒュームとスミス 同上 第五九三号  
一九七三年一月
- (18) ロックの道徳論とスミスの道徳感情論(1) 『横浜市立大学論  
叢』社会科学系列 第二五巻第一／二号 一九七三年一月
- (19) スミス同感論における社会的自己意識の論理 同上 第二五  
巻第三／四号 一九七四年四月
- (20) アダム・スミスの正義論 同上 第二六巻第一／二号  
一九七四年一月
- (21) 市民社会理論の形成—フィルマー批判としての『政府論』の  
論理と構造— 『横浜市立大学論叢』人文科学系列 第二六巻  
第三号 一九七五年五月
- (22) 『道徳感情論』と『国富論』 『『国富論』の成立』(経済学史  
学会編) 岩波書店所収 一九七六年八月
- (23) 『道徳感情論』の思想と経済学 『季刊 科学と思想』第二  
二号 一九七六年一〇月
- (24) ロック経済論の生成と展開 『横浜市立大学論叢』社会科学  
系列 第二九巻第二／三号 一九七八年三月
- (25) ロックにおける市民社会の歴史理論 同上 第三〇巻第二／  
三号 一九七九年四月
- (26) イギリスにおける市民社会思想の成立 『社会思想史』(平田

清明編著) 青林書院新社所収

一九七九年七月

27 自然法思想 『第二版経済学大辞典』Ⅲ 東洋経済新報社所収

一九八〇年九月

28 ロックにおける市民社会理論の形成

上掲一(4)所収  
一九八〇年一〇月

29 ジョン・ロック研究文献目録(一九五〇—一九七九)

一九八〇年一〇月

宮下輝雄との共編 上掲二(4)所収

一九八〇年一〇月

30 社会・経済思想史 第一章 社会思想史 日本経済学会連合編 『経済学の動向』(統編) 第二集 東洋経済新報社所収

一九八二年三月

31 市民社会観 『社会思想事典』(田村秀夫・田中浩編)

中央大学出版部所収  
一九八二年一〇月

32 アダム・スミス『法学講義』研究序説―ハチスン『道德哲学体系』との対比的考察― 『横浜市立大学紀要』社会科学編

新シリーズ第一号  
一九八三年三月

33 市民社会理論の現代的意義―私的所有の問題をめぐって― 『横浜市立大学論叢』社会科学系列 第三五卷第二/三号

一九八四年三月

34 同感法学の破綻 同上 第三六卷一號

一九八五年一月

35 大田可夫『ロック道德哲学の形成』編者『解説』

新評論  
一九八五年三月

36 Pararcha non Monarcha の書誌的考察 『一橋大学社会科学古典資料センター年報』5

一九八五年三月

37 政治論の出自と分業論の成立―経済学の生誕と『法学講義』を

の―一橋大学研究年報『社会学研究』23 一九八五年四月

38 『法学講義』の編別構成逆転の理由 『一橋大学社会科学古典資料センター年報』6

一九八六年三月

39 『法学講義』治政論の主題と構造―経済学の生誕と『法学講義』その二―一橋大学『社会学研究』24 一九八六年四月

一九八七年三月

40 ケイムズ研究事始 『一橋大学社会科学古典資料センター年報』7

一九八七年三月

41 スコットランド啓蒙の思想課題 一橋大学社会科学古典資料センター『スタディ・シリーズ』16

一九八七年八月

42 『立法者の科学』論と『歴史的』方法の問題 『商経論叢』(神奈川大学) 第二三卷一號

一九八七年一〇月

43 ケイムズとスミス 『神奈川法学』第二二卷三號

一九八七年一二月

44 ジョン・ロック―啓蒙の社会科学の哲学者― 『神奈川大学評論』第三号

一九八八年二月

45 スコットランド啓蒙と近代自然法学 上掲二(5)所収

一九八八年六月

四 書評

(1) 水田洋著『近代人の形成』 『横浜大学論叢』第六卷第二号

一九五四年一二月

(2) 福田敏一著『近代政治原理成立史序説』 『週刊読書人』

一九七二年二月

(3) 船越経三著『アダム・スミスの世界』 『季刊 社会思想』第

三一九

三卷第一号

一九七三年四月

(4) 水田洋著『近代思想の展開』『日本読書新聞』

一九七六年十一月

(5) 福田欽一著『近代民主主義とその展望』『週刊読書人』

一九七七年八月

(6) C・B・マクファーン著『自由民主主義は生き残れるか』

『週刊読書人』

一九七八年十一月

(7) C・B・マクファーン著『所有的個人主義の政治理論』

『週刊読書人』

一九八〇年八月

(8) 西尾敬義著『マクファーンの民主主義理論』『週刊読書人』

人』

一九八三年三月

(9) N. Wood: John Locke and Agrarian Capitalism 『経済学史学会年報』23

一九八五年十一月

(10) 使用価値の与件化状況を覆す―渡植彦太郎「人間選書」三部作について―『出版ダイジェスト』一一九六号

一九八六年三月

五 その他

(1) 『甲子の詩』 甲子の詩刊行会

一九八四年二月

ほか省略